

岩上神社から 見谷の横山鉱山事務所跡地へ

探検活動 始まる !!

参加者 19人



最初の訪問地 岩上神社

台風の接近で心配されたお天気でしたが、7月11日(土)当日は天気に恵まれました。

集合場所の上根公民館には、取材に来られた舞鶴市民新聞・京都新聞の記者を合わせると19名が集まりました。出発式のあと、それぞれ車に乗り合わせて岩上神社に向かいました。

午前9時10分過ぎ、岩上神社到着。神社の下の大きな石灰岩の前に集まり、久手先生のお話を聞きました。上根の西野さんが、この時のために、

放散虫の化石がふくまれるチャートやフズリナ石灰岩などを準備してくださいました。中には、数日前に西野さんが見月川で見つけられたサンゴの化石もありました。

白い石灰岩は、福井県高浜町名波江や金剛院でも見られる石です。つまり、若狭の海と池内は同じ地層でつながっているのです。また、石灰岩の白は、母乳の白を想像させます。ここに乳神信仰の対象としての岩上神社を見てとることもできるといいます。そんなことから、兵士として戦場に行く前には家族で岩上神社にお参りすることがよくあったそうです。



大きな石灰岩の下で、久手先生のお話を聞く

岩上神社の神様は、いろいろな場面で頼りにされました。たとえば、何か失くした物があったときに岩上神社にお願いに来ると、見つかることがあるといえます。どこからかトンビが飛んできて、失くした物のあるところを教えてくれるのだそうです。

幹の太さは 4.6メートル

岩上神社には、京都府で最も大きいといわれるモミの木があります。この日、みんなで幹の太さを測ってみました。その結果、このモミの木は地上1.5メートルで、4.6メートルにもなることがわかりました。すごいですね。

急な階段を上って岩上神社をお参りしました。手すりがついているので、なんとか登ることができました。この社の上の山に、昔、寺田城という山城があったそうです。



地福寺（上根分校跡）を訪ねる



現在の地福寺

次に、地福寺に行きました。

ここは、池内小学校上根分校があったところです。はじめ、第二小学校と呼んでいました。しかし、昔、上根で大火事があって村のお寺の地福寺が焼け落ちてしまったので、分校をお寺にしたのだそうです。

ここでは、弁財天（ベタイトサン）もすぐ裏手の山裾に見られます。ここに水の神様の弁財天を祭るのは、池内に大きな池があったとき、船での行き来の安全を願ったからだといわれています。以前は、7月15日にお祭りをしていました。

地福寺から東へ向かって1, 2分歩き、左に上っていくと船つなぎ岩にたどり着きます。写真右手の出っ張ったところに船からの綱をかけたのではないかということです。

探検隊員からは、「ここから見下ろす池内の広い範囲が池だったなんて…」とか、「こんな土地の高いところに船をつないだとは驚いた。」という声があがりました。



みんなで船つなぎ岩を観察する

「池内」という地名の由来

昔、この地に大雨が降ったとき、山が崩れ川をせき止め、大きな池ができました。ふるさと池内探検隊で訪れた船つなぎ岩に船をつなぎ止めるほど広い池だったそうです。そこで、「池内」という地名がついたともいわれます。

横山鉾山跡に行く

寺田から白滝に抜けるハイキング道の途中で車を止めたのが、10時15分でした。ここから鉾山採鉾穴入り口へは、谷川を渡り山道を上っていかなくてはなりません。険しいところもありますが、西野さんたちが草を刈り、石で階段をつくり、ぬかるみには木の枝をしき、目印に黄色い平テープを枝にくくりつけてくださっていました。また、上根の羽賀田区長さんは探検隊員を車に乗せてくださったり、しんがりを歩いてくださったりして、みんなが安全に探検できるように気を配ってくださいました。



鉾山へは、西野さんが案内役をかってくださいました。途中、前の日の雨で道がぬかるんでいるところもありました。

池内小学校5年・4年の2人の探検隊員も険しい山道がんばって歩きました。



横山鉾山は幕府の直轄地として運営されたこともありました。その幕府の力で、土砂崩れを防ぐこのような石垣も造られたのだといわれています。石垣は、この場所以外にも数か所築かれています。



ここが横山鉾山の入り口です。明治になると、加賀藩前田家の家老をしていた横山氏一族がここで鉾山経営にのりだします。日露戦争、第1次世界大戦のころに、大きな利益を得ましたが、大戦後の不況で廃坑になってしまいました(1927年)。人が入ると危ないので、現在、入り口は閉じられています。

横山鉾山跡地で、鉾石を拾いました。坂根隊員に、茶色っぽい重たい石が鉾石だと教わりました。それらしい石をハンマーで割ってみると、黄銅鉾や黄鉄鉾の金色の輝きを見ることができました。ほかにも、塗料の原料にするベンガラを見つけました。赤いきれいな色のかたまりを拾って帰る隊員もいました。





車を止めている出発点に帰ってから、久手先生のお話を聞きました。

鉱山では、落盤によってたくさんの人が犠牲になられたといひます。また、地下水で坑内が水没しないように、夜中じゅう水をかい出すこともあったそうです。鉱山で働く人たちは、たいへんな苦勞をしながら鉱石を掘り出していたのです。

見谷の鉱山社宅跡・事務所跡・飯場跡

見谷には、鉱山で働く人のための住宅がありました。役員社宅が2戸、長屋が3棟(18戸)、独身者用の飯場が建てられていました。また、鉱山事務所もありました。

鉱山事務所跡は、たけのこ工場として使われていましたが、今は利用されていません。

ここで、小学生探検隊員に、この日印象に残ったことをたずねました。

5年生の翔太くんは、「横山鉱山の跡地で、いろいろな鉱石があったこと」と答えてくれました。銅や鉄を含む鉱石を実際に手に持ち、石を割ってその様子を観察することができました。4年生の翔太くんは、「思ったより、鉱石は硬かった」といっていました。その硬い鉱石を掘り出すのに、昔の人たちは、たいへんな苦勞をしたことを実感したのだと思いました。



ここに、昔、鉱山事務所があった

第2回ふるさと池内探検隊 探検コース

上根公民館集合 9:00 → 岩上神社 9:12 → 地福寺(上根分校跡) 9:53・
弁財天 → 船つなぎ岩 → 鉱山跡 10:20 → 見谷(鉱山社宅跡他) 11:25

第3回ふるさと池内探検隊

- 1 探検日時 9月5日(土) 9:00-11:30(予定)
- 2 集合場所 長泉寺(岸谷)
- 3 見学先 長泉寺・観音堂・岸谷分校・山王神社 他
- 4 持ち物等 動きやすい服そう、筆記具、飲み物、
(必要なら)帽子・雨具(あれば)カメラなど

